

# 事 業 報 告 書

平成28年度（平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで）

## (1) 農作物共済関係

(引受)

区分		項目	組員数 (延)	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金	摘 要
			人	a	kg	円	円	円	円	
水 稲 (平成28年産)	一 筆 方 式	東 部	4,522	207,634.8	6,928,614	1,159,560,841				
		高 松	7,504	329,001.7	10,684,764	1,908,684,521				
		小 豆	314	9,361.4	270,682	49,264,124				
		中 讃	4,582	243,641.2	8,086,789	1,463,834,270				
		仲多度	3,526	240,522.7	8,203,696	1,486,699,367				
		三 豊	6,036	282,684.1	9,776,557	1,732,353,554				
		計	26,484	1,312,845.9	43,951,102	7,800,396,677	34,901,911	18,431,394	53,333,305	
麦 (平成28年産)	一 筆 方 式	小 豆	1	9.8	208	4,992				
		仲多度	2	673.7	13,707	1,766,270				
		小計	3	683.5	13,915	1,771,262	32,072	17,667	49,739	
	災害収入共済方式	東 部	58	30,452.9		91,737,581				経営所得安定対策との データ照合に伴い、第 4回通常総代会以降に 引受変更が発生した。
		高 松	154	66,098.0		251,265,614				
		中 讃	127	56,992.2		225,317,585				
		仲多度	159	64,492.6		280,052,943				
		三 豊	106	28,712.2		109,500,613				
	小計	604	246,747.9		957,874,336	26,432,102	18,741,478	45,173,580		
	計	607	247,431.4		959,645,598	26,464,174	18,759,145	45,223,319		
麦 (平成29年産)	一 筆 方 式	小 豆	1	9.8	187	5,049				
		仲多度	1	53.2	1,117	46,914				
		小計	2	63.0	1,304	51,963	1,136	651	1,787	
	災害収入共済方式	東 部	55	32,080.9		99,933,382				
		高 松	156	67,369.9		247,817,288				
		中 讃	119	58,916.8		242,492,815				
		仲多度	150	65,713.2		291,093,790				
		三 豊	104	29,318.4		126,735,513				
	小計	584	253,399.2		1,008,072,788	27,842,325	19,733,950	47,576,275		
	計	586	253,462.2		1,008,124,751	27,843,461	19,734,601	47,578,062		

(参考)

水稲	組員数	引受面積	引受収量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	103.2%	97.3%	96.9%	92.0%	92.1%
事業計画対比		98.0%	97.6%	97.9%	98.3%
10 a 当たり			335kg	59,416円	
1組員当たり		49.6a	1,660kg	294,532円	

麦	組員数	引受面積	引受収量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	96.5%	102.4%		105.1%	105.2%
事業計画対比		103.4%		106.2%	106.0%
10 a 当たり				39,774円	
1組員当たり		432.5a		1,720,349円	

### 【水稲】

1支店1農場構想に基づく特定農業団体の再編・解散により、引受戸数は821戸増加の26,484戸（前年対比103.2%）となったが、栽培農家の高齢化等に伴い、引受面積は371ha減少の13,128ha（同97.3%）、共済金額は6億7,476万円減少し78億39万円（同92.0%）となった。

また、品種別引受面積では、早期ではコシヒカリ及びあきたこまちが増加し、普通期ではおいでまい及びもちの引受面積が増加した。面積割合は、普通期「ヒノヒカリ」37.1%、早期・短期「コシヒカリ」37.2%、この2品種で74.3%となっている。

### 【麦】

特定農業団体の再編及び栽培農家の高齢化等に伴い、引受戸数は21戸減少の586戸（前年対比96.5%）となった。引受面積は60ha増加し2,534ha（同102.4%）。共済金額は4,848万円増加し10億812万円（同105.1%）となった。

一筆方式では、引受戸数は1戸減少の2戸。引受面積は6ha減少の0.6ha（同9.2%）となり、共済金額は、172万円減少の5.1万円（同2.9%）となった。

災害収入共済方式では、引受戸数は20戸減少の584戸（96.7%）となった。引受面積は67ha増加し2,533ha（同102.7%）となった。共済金額は5,020万円増加し、10億807万円（同105.2%）となった。

(被害)

区分		項目	被 害	共済減収量	共 済 金	共 済 金	摘 要
			組合員数(延)	又は減収量		共済金額	
水 稻	一 筆 方 式	東 部	人 56	kg 14,051	円 2,277,508	% 0.2	
		高 松	203	32,162	5,741,218	0.3	
		小 豆	48	4,415	803,530	1.6	
		中 讃	143	27,603	5,018,400	0.3	
		仲多度	107	22,640	4,015,828	0.3	
		三 豊	143	23,499	4,139,334	0.2	
		計	700	124,370	21,995,818	0.3	
		麦 (平成28年産)	一 筆 方 式	小 豆	0	0	0
仲多度	0			0	0	0.0	
小計	0			0	0	0.0	
災害収入共済方式	東 部		39	122,359	7,772,952	8.5	
	高 松		107	453,068	33,034,052	13.1	
	中 讃		64	198,835	12,835,981	5.7	
	仲多度		96	493,554	30,045,180	10.7	
	三 豊		56	103,603	6,647,323	6.1	
	小計		362	1,371,419	90,335,488	9.4	
計	362		1,371,419	90,335,488	9.4		

【水稲】

8月29日の台風10号により、一部地域で倒伏が発生したほか、病害では6月下旬に曇雨天が続いたことによりイモチ病や紋枯病が発生し、虫害では6月中旬の降雨によって深水となった所では、短期、普通期作でスクミリンゴガイの食害による欠株が多発した。  
また、山間部を中心にイノシシ、島しょ部ではイノシシやヌートリアによる獣害も発生した。  
災害種類別の被害については、獣害が最も多く、全減収量の40.4%を占めた。次いで虫害の31.3%、風水害の14.4%となった。

【麦】

播種適期以降、降雨が続いたために土壌水分が高い状況下での播種作業となり、土壌条件の悪い耕地では発芽不良や播種作業の取り止めがあった。  
その後、天候回復により最高・最低気温共に平年を上回る状態が続き、特に幼穂形成期が小麦、裸麦共に早まった。また、焼け熟れ現象等により、粒張りが悪くなり、収量・品質共に低下した。

(支払)

区分		項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金
					保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	共済金
水 稻	一筆	平成28年12月19日	円 21,995,818	円 0	円 21,995,818	円 0	円 0	円 0	円 0	% 100
		-	0	0	0	0	0	0	0	100
麦	災害収入	平成28年11月21日	90,335,488	0	45,173,580	45,161,908	0	0	0	100
計			112,331,306	0	67,169,398	45,161,908	0	0	0	100

## (2) 家畜共済関係

(引受)

区 分	項 目	有資格 頭 数	事業計 画頭数	引 受 頭 数	引受頭数	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金	摘 要
					事業計 画頭数					
乳 用 成 牛	東 部	1,652	1,530	1,652	108.0	346,441,723				
	高 松	1,430	1,500	1,430	95.3	345,467,524				
	小 豆	68	50	58	116.0	18,692,480				
	中 讃	113	110	113	102.7	28,911,628				
	仲多度	692	710	692	97.5	122,967,100				
	三 豊	631	700	631	90.1	162,825,321				
	計	4,586	4,600	4,576	99.5	1,025,305,776				
乳 用 子 牛	東 部	281	200	281	140.5	22,420,497				
	高 松	147	200	147	73.5	16,349,168				
	小 豆	5	0	3	-	585,600				
	中 讃	17	0	17	-	2,214,827				
	仲多度	75	50	75	150.0	4,969,700				
	三 豊	43	60	43	71.7	5,605,124				
	計	568	510	566	111.0	52,144,916				
乳 用 胎 児	東 部	1,919	1,770	1,919	108.4	131,812,431				
	高 松	1,576	1,500	1,566	104.4	103,524,248				
	小 豆	79	60	69	115.0	8,859,334				
	中 讃	126	130	126	96.9	9,522,545				
	仲多度	859	950	859	90.4	35,954,100				
	三 豊	725	740	725	98.0	56,828,555				
	計	5,284	5,150	5,264	102.2	346,501,213	97,327,886	20,431,767	117,759,653	
肥 育 用 成 牛	東 部	2,174	2,100	2,174	103.5	442,510,026				
	高 松	1,532	1,700	1,532	90.1	377,076,687				
	小 豆	378	420	373	88.8	139,124,912				
	中 讃	982	740	702	94.9	207,143,858				
	仲多度	4,034	4,130	4,032	97.6	786,159,550				
	三 豊	7,158	7,210	7,158	99.3	1,684,809,437				
	計	16,258	16,300	15,971	98.0	3,636,824,470				
肥 育 用 子 牛	東 部	173	250	173	69.2	13,356,362				
	高 松	496	450	396	88.0	46,905,471				
	小 豆	13	10	13	130.0	2,054,314				
	中 讃	30	40	30	75.0	3,300,767				
	仲多度	193	130	184	141.5	15,048,100				
	三 豊	184	190	184	96.8	18,811,296				
	計	1,089	1,070	980	91.6	99,476,310				
他 肉 成 牛	東 部	65	60	65	108.3	27,617,880				
	高 松	772	700	772	110.3	217,060,092				
	小 豆	76	70	76	108.6	25,211,076				
	中 讃	110	90	110	122.2	40,979,287				
	仲多度	227	190	221	116.3	68,827,750				
	三 豊	469	400	469	117.3	142,648,263				
	計	1,719	1,510	1,713	113.4	522,344,348				
他 肉 子 牛	東 部	8	0	8	-	1,387,236				
	高 松	61	80	61	76.3	6,662,139				
	小 豆	5	10	5	50.0	793,644				
	中 讃	4	0	4	-	748,774				
	仲多度	5	10	5	50.0	567,000				
	三 豊	8	10	8	80.0	1,066,558				
	計	91	110	91	82.7	11,225,351				
他 肉 胎 児	東 部	56	60	56	93.3	7,439,604				
	高 松	833	730	833	114.1	70,627,451				
	小 豆	92	90	92	102.2	10,128,384				
	中 讃	115	100	115	115.0	11,989,115				
	仲多度	260	190	233	122.6	19,657,000				
	三 豊	535	440	535	121.6	45,565,046				
	計	1,891	1,610	1,864	115.8	165,406,600	91,088,907	18,439,989	109,528,896	
一 般 馬	東 部	-	2	0	0.0	0				
	高 松	-	1	0	0.0	0				
	計	0	3	0	0.0	0			0	

区 分	項 目	有資格	事業計	引 受	引受頭数	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金	摘 要
		頭 数	画頭数	頭 数	事業計 画頭数					
種豚	東 部	983	620	983	158.5	55,048,000				
	高 松	63	50	63	126.0	2,520,000				
	小 豆	1	2	1	50.0	67,200				
	中 讃	1,570	720	830	115.3	33,200,000				
	三 豊	1,002	830	902	108.7	17,247,100				
	計	3,619	2,222	2,779	125.1	108,082,300	1,942,825	-254,092	1,688,733	
肉豚 (群単位)	東 部	6,900	-	-	-	-				
	高 松	-	-	-	-	-				
	小 豆	-	-	-	-	-				
	中 讃	-	-	-	-	-				
	仲多度	-	-	-	-	-				
	三 豊	3,667	3,300	3,667	111.1	46,937,600	3,358,110	-55,9919	2,798,191	
計	10,567	3,300	3,667	111.1	46,937,600					
肉豚 (農家単位)	東 部	-	-	-	-	-				
	高 松	500	500	0	0.0	0				
	中 讃	14,562	9,500	9,262	97.5	118,553,600				
	三 豊	6,980	1,500	1,680	112.0	21,504,000				
	計	22,042	11,500	10,942	95.1	140,057,600	53,783	-9665	44,118	
種 雄 牛	東 部	-	-	-	-	-				
	計	-	-	-	-	-				
合 計		67,714	47,885	48,413	101.1	6,154,306,484	193,771,511	38,048,080	231,819,591	(交付金 38,424,800 ) (納入保険料 376,720 )

#### 引受の概況

年間を通して畜産物価格はおおむね高値で推移したものの、飼料価格の高止まり、肥育素牛価格の上昇など、畜産を取り巻く環境は依然として厳しく、高齢化や後継者不足による廃業戸数は15戸となった。

引受頭数では、乳牛では廃業等あったものの、乳用成牛4,576頭(△150頭、前年対比96.8%)、乳用子牛等5,830頭(同100.0%)と前年並みとなった。肉用牛では、導入減等により、肥育用成牛15,971頭(△534頭、同96.8%)、肥育用子牛980頭(△523頭、同65.2%)と減少した一方で、繁殖牛の頭数増により他肉用成牛1,713頭(111頭増、同106.9%)、他肉用子牛等1,955頭(118頭増、同106.4%)となった。また、豚については、引き続き画像による事故確認及び事故限定方式での加入推進の結果、種豚では2戸が新規加入し、2,779頭(597頭増、同127.4%)となった。

肉豚(群単位)では3,667頭(△347頭、同91.4%)、肉豚(農家単位)では10,942頭(△96頭、同99.1%)となり、全体としては、48,413頭(△827頭、同98.3%)となった。

共済金額は、乳用成牛102,530万円(同99.8%)、乳用子牛等39,864万円(同102.2%)、肥育用成牛363,682万円(同115.5%)、肥育用子牛9,947万円(同75.8%)、他肉用成牛52,234万円(同120.2%)、他肉用子牛等17,663万円(同110.5%)、種豚10,808万円(同137.8%)、肉豚(群単位)4,693万円(同86.0%)、肉豚(農家単位)14,005万円(同93.3%)となり、全体としては、615,430万円(同110.4%)となった。

(参考)

区 分	乳用成牛	乳用子牛等	肥育成牛	肥育子牛	他肉成牛	他肉子牛等	一般馬	種 豚	肉 豚 (群単位)	肉 豚 (農家単位)
引 受 頭 数 前 年 対 比	96.8%	100.0%	96.8%	65.2%	106.9%	106.4%	0.0%	127.4%	91.4%	99.1%
1 頭 当 たり 平 均 共 済 金 額	224,062円	68,378円	227,714円	101,506円	304,930円	90,349円	-	38,893円	12,800円	12,800円
1 頭 共 済 金 額 前 年 対 比	103.0%	102.2%	119.4%	116.3%	112.4%	103.9%	0.0%	108.2%	94.1%	94.2%

(事故)

区 分	死 産 事 故				病 傷 事 故		摘 要
	死亡頭数	産用頭数	総 頭 数	支払共済金	頭 数	支払共済金	
乳 用 成 牛	257	182	439	84,774,714	4,315	77,254,820	
乳 用 子 牛	8		8	901,725	101	833,360	
乳 用 胎 児	394		394	26,365,737	906	9,730,890	
肥 育 用 成 牛	185	58	243	54,898,369	1,941	25,622,320	
肥 育 用 子 牛	109	3	112	10,077,085	2,589	26,243,110	
他 肉 成 牛	15	15	30	9,234,598	1,104	11,756,680	
他 肉 子 牛			0		39	355,400	
他 肉 胎 児	77		77	7,236,961	617	7,942,300	
一 般 馬							
種 豚	126	8	134	5,597,672	62	307,990	
肉 豚 ( 群 単 位 )	792		792	9,001,564			
肉 豚 ( 農 家 単 位 )							
種 雄 牛							
合 計	1,963	266	2,229	208,088,425	11,674	160,046,870	

#### 事故の概況

死産事故総頭数は、前年度より442頭増の2,229頭（前年対比124.7%）となり、支払共済金は1,623万円増の2億809万円（同108.5%）となった。

乳用成牛では、乳房炎が16頭減少したが、夏季の高温の影響で、熱射病が24頭と前年度より12頭増加した。消化器病は14頭増加、運動器病は11頭減少し、一般損害防止事業での股裂き防止ベルト装着を推進し、今後も継続していく必要があると考えられる。

肉用牛では、呼吸器病が肥育用成牛で13頭、肥育用子牛で6頭減少、消化器病が肥育用成牛で10頭、肥育用子牛で5頭減少した。

牛白血病が、乳用成牛で13頭、他肉成牛で4頭増加し、全体では前年度より14頭増加した。また、種豚では引受増により前年度より94頭増加した。

本年度も、ポツリヌス症の集団発生があり、ワクチン接種、生菌剤投与により終息したが、今後も継続して組合員へ注意喚起していく必要がある。

病傷事故総頭数は、前年度より422頭増の11,674頭（前年対比103.8%）となり、支払共済金は337万円減の1億6,005万円（同97.9%）となった。診療頭数は増加したが、診療1頭当たりの診療回数が減少、支払共済金はほぼ前年並みとなった。

乳用成牛では、乳房炎が436頭減、消化器病が85頭減少した。

肥育用成牛、肥育用子牛では、依然として呼吸器病が主要疾病を占めており、本年度は肥育用子牛が243頭増加し、大型農場での呼吸器病対策（ワクチン接種、煙霧消毒等）を今後も継続していく必要があると考えられる。

(損害防止)

特定損害防止

区分	項目	対象疾病	対象頭数	経費概算		摘要
				頭	円	
乳牛	繁殖障害		744	2,919,160		
	周産期疾患		387	2,510,010		
	乳房炎		920	2,771,060		
	運動器疾患		907	2,032,980		
	寄生虫性腸炎		162	412,110		
肉用牛	繁殖障害		321	1,467,060		
	運動器疾患					
	寄生虫性腸炎		453	1,060,320		
豚	繁殖障害					
その他経費						
合計			3,894	13,172,700		

一般損害防止

区分	項目	対象頭数(回数)	実施内容		経費概算	摘要
			頭	円		
健康検査		1,969		繁殖検査、乳房炎検査、BCS、代謝プロファイル、ビタミンA欠乏症検査、臍ヘルニア予防、尿石症診断	527,170	
予防衛生		131,888		畜舎消毒、暑熱対策、乳房炎予防、乳汁検査、寄生虫駆除、ビタミン補給、産後起立不能予防、繁殖障害予防、運動器予防、子牛疾病予防、煙霧消毒、尿石症予防、予防注射(豚丹毒、豚3種混合、牛イバキ病、IBR、TSV、牛5種混合、牛6種混合、牛異常産3種混合、牛ヘモフィルス、牛大腸菌性下痢症、牛コロナウイルス感染症、牛下痢5種混合、マンヘミア・ヘモリチカ感染症、ボツリヌス感染症)等	8,330,606	
飼養管理指導		151	戸	飼養管理指導、乳質改善、子牛呼吸器病予防指導、乳熟予防指導、巡回指導	2,917,000	削蹄奨励 5,834頭
講習会 講話会		9	回	乳質改善研修会、家畜の事故状況及び対策、飼養管理講習会、ボツリヌス症について、子牛の哺育管理	-	
計					11,774,776	

診療所

診療所名	獣医師 職員数	管内		診療件数		損害防止事業							
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	特損実施内容			一損実施内容				
						種目	頭数	重点事項	経費概算	頭数	重点事項	経費概算	その他
東部	4.4	5,336	5,336	2,055	355	乳用牛	903	乳牛及び肉用牛	2,625,690	2,979	畜舎消毒の実施 暑熱対策	780,013	
中央	7.6	5,047	4,930	4,042	923	繁殖障害、周産期疾患、乳房炎、運動器疾患、寄生虫性腸炎	1,147	繁殖障害の検査及び処置、寄生虫性腸炎の検査と処置	4,738,720	8,352	寄生虫の検査と駆虫 乳房炎検査と搾乳衛生指導 プロファイルテストによる周産期疾病の予防	1,021,453	
小豆出張所	1	546	529	330	80		乳牛	146	繁殖障害の検査と指導 子牛の健康検査、疾病予防 消化器病対策、呼吸器病対策、煙霧消毒	368,360	2,219	ビタミンA欠乏症対策	84,497
中部	4.4	8,052	7,015	2,723	321	肉用牛	887	周産期疾患の検査及び処置指導、乳房炎の検査及び処置指導、運動器疾患の検査と処置	2,433,960	11,664	予防注射 飼養管理指導 事故対策の講習・講話会	1,011,853	
三豊	5.6	9,495	9,395	2,854	528	繁殖障害、寄生虫性腸炎	957		3,374,330	9,837	ボツリヌス症対策について サンバエ対策について、巡回指導	798,672	
計	22	27,930	26,676	11,674	2,127		3,894		13,172,700	32,832		3,611,991	

(注) 管内有資格頭数、加入頭数は、乳用、肉用胎児及び肉豚を除く。

## (3) 果樹共済関係

(引受)

## うんしゅうみかん

区分		項目		組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金	
				人	a	kg	円	円	円	円	
半減収相殺	平成26年度	高松		133	2,658.9	283,221	21,823,000				
		小豆		26	514.0	62,165	4,874,000				
		中讃		125	3,566.2	435,160	34,214,000				
		仲多度		45	1,010.4	138,039	10,707,000				
		三豊		366	13,333.6	1,580,180	123,396,000				
		計	延実	695							
				502	21,083.1	2,498,765	195,014,000	8,889,433	3,125,153	12,014,586	
	平成27年度	高松		123	2,451.5	272,842	21,021,000				
		小豆		25	498.1	61,130	4,799,000				
		中讃		113	3,110.8	391,247	30,756,000				
		仲多度		40	828.2	118,959	9,224,000				
		三豊		334	12,191.5	1,489,087	116,183,000				
		計	延実	635							
				455	19,080.1	2,333,265	181,983,000	8,307,081	2,926,282	11,233,363	
平成28年度	高松		105	2,168.3	262,799	20,552,000					
	小豆		23	473.9	58,143	3,923,000					
	中讃		109	3,059.1	396,916	39,159,000					
	仲多度		31	596.8	86,291	5,789,000					
	三豊		289	9,942.0	1,256,948	83,744,000					
	計	延実	557								
			401	16,240.1	2,061,097	153,167,000	7,340,229	3,204,675	10,544,904		

(参考)

うんしゅうみかん	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	88.1%	85.1%	88.3%	84.2%	93.9%
事業計画対比		89.7%		96.9%	101.2%
10a当たり			1,269 kg	94,314円	

## いよかん

区分		項目		組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金	
				人	a	kg	円	円	円	円	
半減収相殺	平成26年度	高松		3	43.0	2,424	129,000				
		中讃		5	84.0	5,886	315,000				
		三豊		6	61.3	4,502	239,000				
		計	延実	14							
				14	188.3	12,812	683,000	20,643	14,091	34,734	
	平成27年度	高松		3	43.0	2,196	117,000				
		中讃		2	32.0	2,142	114,000				
		三豊		6	61.3	4,135	220,000				
		計	延実	11							
				11	136.3	8,473	451,000	13,410	9,141	22,551	
平成28年度	高松		2	30.0	1,424	69,000					
	中讃		3	41.0	2,640	129,000					
	三豊		4	41.2	2,552	124,000					
	計	延実	9								
			9	112.2	6,616	322,000	9,901	6,713	16,614		

(参考)

いよかん	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	81.8%	82.3%	78.1%	71.4%	73.7%
事業計画対比		93.5%		94.7%	92.3%
10a当たり			590kg	28,699円	

指定かんきつ

区分		項目		組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
				人	a	kg	円	円	円	円
半相殺	減収	平成26年度	高松	18	308.0	15,057	1,802,000			
			中讃	10	402.0	25,855	2,282,000			
			仲多度	2	21.0	1,203	100,000			
			三豊	53	1,592.7	110,009	13,086,000			
			計	延実 83 実 80	2,323.7	152,124	17,270,000	495,568	369,504	865,072
	総合	平成27年度	高松	16	248.0	11,776	1,415,000			
			中讃	9	382.0	20,751	1,829,000			
			仲多度	1	10.0	509	39,000			
			三豊	49	1,523.5	91,230	10,968,000			
			計	延実 75 実 73	2,163.5	124,266	14,251,000	411,021	307,101	718,122
	一般	平成28年度	高松	14	218.0	10,157	1,275,000			
			小豆	2	91.1	2,931	290,000			
中讃			8	281.0	14,809	1,189,000				
三豊			47	1,503.7	81,170	10,245,000				
計			延実 71 実 69	2,093.8	109,067	12,999,000	393,505	323,281	716,786	

(参考)

指定かんきつ	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	94.5%	96.8%	87.8%	91.2%	99.8%
事業計画対比		102.1%		96.7%	98.9%
10 a 当たり			521kg	62,083円	

ぶどう

区分		項目		組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
				人	a	kg	円	円	円	円
半相殺	減収	平成27年度	東部	8	110.5	8,957	4,559,000			
			高松	14	218.5	21,342	9,325,000			
			中讃	21	268.1	21,643	10,334,000			
			仲多度	3	76.0	3,372	1,001,000			
			三豊	147	2,052.2	160,502	79,216,000			
	計	延実 193 実 165	2,725.3	215,816	104,435,000	3,253,122	2,341,654	5,594,776		
	樹園地	平成28年度	東部	2	26.0	2,313	1,221,000			
			中讃	9	245.6	28,756	15,307,000			
			計	延実 11 実 9	271.6	31,069	16,528,000	202,743	138,844	341,587
			東部	7	96.5	8,210	4,637,000			
高松			10	167.9	15,470	8,210,000				
半相殺	平成28年度	中讃	21	276.6	20,879	12,242,000				
		仲多度	3	76.0	3,507	1,074,000				
		三豊	131	1,847.5	136,895	79,325,000				
		計	延実 172 実 148	2,464.5	184,961	105,488,000	3,392,832	2,728,198	6,121,030	
		中讃	9	248.6	25,822	15,601,000				
樹園地	平成28年度	計	延実 9 実 8	248.6	25,822	15,601,000	240,499	198,374	438,873	

(参考)

ぶどう半相殺	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金	ぶどう 樹園地	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	89.7%	90.4%	85.7%	101.0%	109.4%	前年度対比	88.9%	91.5%	83.1%	94.4%	128.5%
事業計画対比		96.3%		98.7%	90.8%	事業計画対比		99.4%		120.0%	134.2%
10 a 当たり			751kg	428,030円		10 a 当たり			1,039 kg	627,554円	



なし

区分			項目	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
半相殺	減収総合一般	27年度	三豊	45	853.2	123,457	22,998,000			
			計	延実 45						
	28年度	三豊	43	833.2	111,654	21,806,000				
		計	延実 43							
				25	833.2	111,654	21,806,000	1,065,669	359,139	1,424,808

(参考)

なし	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	92.6%	97.7%	90.4%	94.8%	91.0%
事業計画対比		102.9%		97.9%	101.3%
10 a 当たり			1,340 kg	261,714円	

もも

区分			項目	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
半相殺	減収総合一般	平成27年度	東部	16	223.0	13,961	3,080,000			
			高松	12	274.0	18,164	4,062,000			
			中讃	112	2,407.2	195,159	43,535,000			
			仲多度	16	286.3	19,622	4,406,000			
			三豊	135	2,528.9	166,067	36,978,000			
			計	延実 291						
	28年度	東部	15	263.0	17,015	4,415,000				
		高松	12	265.1	17,461	4,511,000				
		中讃	109	2,292.2	177,693	45,957,000				
		仲多度	16	271.3	18,683	4,808,000				
		三豊	116	2,231.5	140,360	36,299,000				
		計	延実 268							
				164	5,323.1	371,212	95,990,000	3,626,698	2,417,136	6,043,834

(参考)

もも	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	94.8%	93.1%	89.9%	104.3%	113.8%
事業計画対比		98.2%		94.9%	95.2%
10 a 当たり			697kg	180,327円	

かき

区分			項目	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金		
半相殺	減収総合一般	平成27年度	高松	30	1,214.6	71,861	10,705,000					
			中讃	35	997.5	61,282	8,568,000					
			仲多度	8	216.0	12,427	1,794,000					
			三豊	51	1,451.0	91,103	10,613,000					
			計	延実 124								
			中讃	33	2,138.5	153,290	19,180,000					
	樹園地	計	延実 33									
						33	2,138.5	153,290	19,180,000	604,177	310,709	914,886
		減収総合一般	平成28年度	高松	25	953.1	57,841	7,753,000				
				中讃	31	866.3	56,194	7,044,000				
仲多度	8			206.0	12,514	1,611,000						
三豊	43			1,224.5	85,343	9,220,000						
計	延実 107											
中讃	32			2,093.8	157,682	17,539,000						
樹園地	計	延実 32										
					32	2,093.8	157,682	17,539,000	495,290	274,288	769,578	

(参考)

かき 半相殺	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金	かき 樹園地	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	85.2%	83.8%	89.5%	80.9%	84.1%	前年度対比	97.0%	97.9%	102.9%	91.4%	84.1%
事業計画対比		88.8%		86.4%	88.5%	事業計画対比		103.1%		98.3%	107.3%
10 a 当たり			652kg	78,858円		10 a 当たり			753 kg	83,766円	

くり

区分		項目		組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
半相殺	27年度	東部	人	a	kg	円	円	円	円	
			12	508.0	4,094	1,384,000				
	28年度	東部	延実	12	508.0	4,094	1,384,000	59,512	25,881	85,393
			計	12	508.0	4,094	1,384,000	59,512	25,881	85,393
28年度	東部	延実	11	432.0	3,178	1,133,000				
		計	11	432.0	3,178	1,133,000	52,544	25,010	77,554	

(参考)

くり	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	91.7%	85.0%	77.6%	81.9%	90.8%
事業計画対比		90.0%		83.9%	89.1%
10a当たり			74kg	26,227円	

ぶどう (災害収入方式)

区分		項目		組員数	引受面積	基準生産金額	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
災害収入	27年度	仲多度	人	a	円	円	円	円	円	
			9	224.3	8,511,055	6,806,000				
	28年度	仲多度	延実	9	224.3	8,511,055	6,806,000	200,638	108,754	309,392
			計	9	224.3	8,511,055	6,806,000	200,638	108,754	309,392
28年度	仲多度	延実	8	187.0	6,962,213	5,566,000				
		計	8	187.0	6,962,213	5,566,000	174,116	108,991	283,107	

(参考)

ぶどう災害収入	組員数	引受面積	基準生産金額	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	88.9%	83.4%	81.8%	81.8%	91.5%
事業計画対比		85.0%		83.4%	67.4%
10a当たり			372,311円	297,647円	

キウイフルーツ (災害収入方式)

区分		項目		組員数	引受面積	基準生産金額	共済金額	徴収共済掛金	交付金(納入保険料)	手持共済掛金
災害収入	平成27年度	高松	人	a	円	円	円	円	円	
			11	181.6	10,250,589	8,197,000				
			小豆	7	141.5	9,096,925	5,987,000			
			中讃	2	25.8	1,650,408	1,319,000			
			仲多度	23	810.0	46,918,596	37,524,000			
			三豊	10	134.3	10,351,483	8,275,000			
			計	延実	53	1,293.2	78,268,001	61,302,000	1,348,644	▲ 140,994
	平成28年度	高松	延実	53	1,293.2	78,268,001	61,302,000	1,348,644	▲ 140,994	1,207,650
			高松	13	447.9	16,801,293	11,786,000			
			小豆	7	148.5	9,932,567	7,942,000			
			中讃	2	25.8	1,579,954	1,262,000			
			仲多度	24	852.1	53,686,918	42,939,000			
			三豊	10	134.3	11,835,007	9,463,000			
			計	延実	56	1,608.6	93,835,739	73,392,000	1,834,800	513,744

(参考)

キウイフルーツ	組員数	引受面積	基準生産金額	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	105.7%	124.4%	119.9%	119.7%	194.5%
事業計画対比		126.2%		121.6%	129.7%
10a当たり			583,338円	456,248円	

引受の概況

キウイフルーツを除く8樹種においては、栽培農家の高齢化・後継者不足に伴う栽培中止及び改植・廃園等により、うんしゅうみかん(前年比△54戸、△2,840.0a)、いよかん(同△2戸、△24.1a)、指定かんきつ(同△4戸、△69.7a)、ぶどう(同△19戸、△321.1a)、なし(同△2戸、△20.0a)、もも(同△9戸、△396.3a)、かき(同△19戸、△673.9a)、くり(同△1戸、△76.0a)と減少した。キウイフルーツ(災害収入方式)については新規加入があり(前年比3戸増、同315.4a)と増加した。キウイフルーツ(樹体)については加入が無かった。総共済金額において528,631千円(前年比24,428千円減、同95.6%)となった。

(被害)

項目				被 害 組合員数	被害面積	減収量	共済金	共済金	
区分								人	kg
平成 27年 産	うんしゅうみかん	半 相 殺	減収総合一般	高 松	48	821.1	39,310	1,170,310	5.4
				小 豆	3	43.2	2,730	135,230	2.8
				中 讚	49	1,264.6	69,376	1,984,750	5.8
				仲多度	15	394.0	22,212	665,190	6.2
				三 豊	127	4,383.2	239,334	8,560,680	6.9
				計	延実 242 201	6,906.1	372,962	12,516,160	6.4
平成 27年 産	いよかん	半 相 殺	減収総合一般	高 松	0	0.0	0	0	0.0
				中 讚	1	18.0	767	19,430	6.2
				三 豊	0	0.0	0	0	0.0
				計	延実 1 1	18.0	767	19,430	2.8
平成 28年 産	指定かんきつ	半 相 殺	減収総合一般	高 松	0	0.0	0	0	0.0
				中 讚	2	66.0	2,781	99,670	4.4
				仲多度	1	10.0	186	3,870	3.9
				三 豊	24	862.8	21,863	746,770	5.7
				計	延実 27 27	938.8	24,830	850,310	4.9
平成 28年 産	ぶどう	半 相 殺	減収総合一般	東 部	1	17.0	275	23,680	0.5
				高 松	1	13.0	365	60,200	0.6
				中 讚	5	40.9	1,178	194,360	1.9
				仲多度	1	40.0	440	45,730	4.6
				三 豊	40	684.6	24,042	3,843,450	4.9
		計	延実 48 45	795.5	26,300	4,167,420	4.0		
		樹園地	災害収入共済	東 部	0	0.0	0	0	0.0
				中 讚	0	0.0	0	0	0.0
計	延実 0 0			0.0	0	0	0.0		
仲多度	8	175.3	5,148	1,875,395	27.6				
計	延実 8 8	175.3	5,148	1,875,395	27.6				
28年 産	なし	半 相 殺	合減一般総	三 豊	15	339.4	18,831	987,660	4.3
				計	延実 15 15	339.4	18,831	987,660	4.3
平成 28年 産	もも	半 相 殺	減収総合一般	東 部	2	18.0	547	84,350	2.7
				高 松	4	76.4	1,766	142,260	3.5
				中 讚	40	990.9	29,757	1,581,720	3.6
				仲多度	5	95.6	2,959	268,720	6.1
				三 豊	29	539.1	14,251	1,268,940	3.4
計	延実 80 63	1,720.0	49,280	3,345,990	3.6				
平成 28年 産	かき	半 相 殺	減収総合一般	高 松	13	441.0	10,641	707,710	6.6
				中 讚	11	323.4	10,862	785,010	9.2
				仲多度	4	120.0	2,977	157,250	8.8
				三 豊	12	376.8	11,253	796,340	7.5
		計	延実 40 40	1,261.2	35,733	2,446,310	7.7		
		樹園地	中 讚	13	403.7	16,580	967,970	5.0	
計	延実 13 13	403.7	16,580	967,970	5.0				
28年 産	くり	半 相 殺	合減一般総	東 部	7	151.0	457	73,760	5.3
				計	延実 7 7	151.0	457	73,760	5.3

被害の概況

【平成27年産うんしゅうみかん、いよかん、平成28年産指定かんきつ】

春先の急激な気温の低下により、着果の減少した園地がみられた。5月から6月にかけて高温乾燥が続いたため、生理落果が多発し着果数が減少した。7月に上陸した台風11号の影響により、キズ果・スレ果の被害も見られた。8月中旬以降、10月上旬にかけて日照不足と多雨に見舞われ、その後は高温多雨となったため、果実は浮皮・水腐れとなるものも多く、一部腐敗果も見られた。黒点病、ミカンサビダニの被害も見られた。獣害では、イノシシ、サルによる被害が年々拡大している。

【ぶどう】

6月の極端な多雨により、べと病が葉・果実に発病し、早期落葉、果実のミイラ化なども発生。7月上旬からは極端な高温乾燥となり、急激に変化する気象条件に樹体が対応できず、葉やけ・落葉とともに縮果症・日射症などの果粒障害が発生。デラウェアではべと病の早期落葉とも重なり強日射により房の肩部から果粒が萎む症状が多発した。8月末以降は長雨・日照不足により裂果、腐敗が進み晩腐病も誘発し減収した。山間部ではサルによる食害、またカラスによる食害も多く発生した。

【なし】

4月の強風により、受粉に影響を与え着花不良となった園も見られた。6月の多雨による裂果の発生や、7月上旬からの極端な高温乾燥により、果実の肥大が抑制され小玉傾向となった。豊水などでは「ミズナシ」も多く発生した。また、ナシヒメシンクイによる虫害や、枝枯病・胴枯病も発生。イノシシ、カラス・ヒヨドリによる食害も一部で見られた。

(支払)

【もも】

昨年の台風11号の強風による、幹や枝折れ、落葉などがあった園では、樹勢が弱り、また花芽に影響を与え着果不良となり減収した。6月の多雨により果実肥大が急激に促進し、核割れを誘発し、落果が多発した園地がみられた。病虫害では、穿孔細菌病の被害が多く発生した。獣害では、カラス・イノシシ・サル等の食害の被害が発生。特にサルの被害では収穫皆無に近い園地も発生した。

【かき】

7月中旬から8月末の高温乾燥により、果実は日焼け果が見られたり小玉傾向となった。9月からは秋雨前線や台風16号の影響で多雨・日照不足となり土壌水分過多による根の傷みにより後期落果及びヘタスキ果による落果発生。炭疽病や落葉病の病害、カキノヘタムシガやヤガ、カメムシの虫害が多発し、軟果が進み落果が多く発生した。また鳥獣害では、カラス・猿・イノシシの食害が発生した。

【くり】

梅雨明け後の極端な高温乾燥により、果実の肥大不足、生理落穂、枝葉の枯死が見られた。9月は一変、降雨が続いたため果実の裂果や、ミタンノ病も一部で発生した。イノシシ・サルによる食害も多く見られた。

区分	項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共済金
				保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	
半 相 殺 減 収 総 合 一 般	うんしゅうみかん	平成28年5月26日	12,516,160	0	12,014,586	0	0	501,574	100
	いよかん	平成28年5月26日	19,430	0	19,430	0	0	0	100
	指定かんきつ	平成28年5月26日	850,310	0	850,310	0	0	0	100
	ぶどう	平成29年2月8日	4,167,420	0	4,167,420	0	0	0	100
	なし	平成28年12月19日	987,660	0	987,660	0	0	0	100
	もも	平成28年11月21日	3,345,990	0	3,345,990	0	0	0	100
	かき	平成29年2月27日	2,446,310	0	2,346,460	0	0	99,850	100
	くり	平成28年12月19日	73,760	0	73,760	0	0	0	100
	計		24,407,040	0	23,805,616	0	0	601,424	100
樹 園 地	ぶどう	-	0	0	0	0	0	0	-
	かき	平成29年2月27日	967,970	0	914,886	0	0	53,084	100
	計		967,970	0	914,886	0	0	53,084	100
災 害 収 入	ぶどう	平成29年2月8日	1,875,395	1,363,209	309,392	0	0	202,794	100
	計		1,875,395	1,363,209	309,392	0	0	202,794	100

(4) 畑作物共済関係

(引受)

畑作物区分			項目	組員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金	摘要
				人	a	kg	円	円	円	円	
平成 28 年度	第一区分	大豆	東 部	14	1,368.7	8,965	1,251,575				
			高 松	35	704.5	5,135	3,227,647				
			中 讃	11	1,210.1	8,059	1,419,113				
			仲多度	56	1,052.7	9,337	5,167,447				
			三 豊	7	182.4	1,419	569,897				
			計	延 123 実 119	4,518.4	32,915	11,635,679	491,999	362,452	854,451	
	第二区分	茶 (平成29年産)	高 松	2	120.0	-	121,000				
			仲多度	5	550.0	-	2,864,000				
			三 豊	1	39.6	-	257,000				
			計	実 8	709.6	-	3,242,000	138,599	69,603	208,202	
平成 27 年度	第二区分	茶 (平成28年産)	高 松	2	120.0	-	147,000				
			仲多度	5	550.0	-	3,059,000				
			三 豊	1	39.6	-	263,000				
			計	実 8	709.6	-	3,469,000	129,573	72,341	201,914	

(参考)

大豆

項目	組員数	引受面積	引受収量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	90.2%	87.1%	84.0%	83.7%	66.4%
事業計画対比		96.1%		85.4%	84.4%
10 a 当たり			73kg	25,752円	

平成28年産大豆の引受戸数は、13戸減少し、119戸（前年産対比90.2%）となった。引受面積は6.7ha減少の45.1ha（同87.1%）、共済金額は227万円減少し、1,163万円（同83.7%）となった。面積の増減で顕著なのは、白大豆で1大規模農家で面積を増やしたが、2法人等での面積の減少により県計では大きく減少した。

茶

項目	組員数	引受面積	基準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	100.0%	100.0%	94.0%	93.5%	103.1%
事業計画対比		99.9%		93.3%	93.4%
10 a 当たり			233kg	45,688円	

平成29年産茶の引受は、戸数、面積とも前年産と同数となった。基準収穫量は1,060kg減少の16,537kg（前年対比94.0%）、共済金額は227千円減少の3,242千円（同93.5%）となった。

(被害)

畑作物区分		項目	被害 組合員数	共済減収量 又は減収量	共済金	共済金 共済金額	摘要
第一区分	大豆	東 部	人	kg	円	%	
		高 松	4	145	39,643	3.2	
		中 讃	13	648	510,186	15.8	
		仲多度	6	249	158,419	11.2	
		三 豊	20	731	599,623	11.6	
		計	3	47	16,565	2.9	
		延 実	46 46	1,820	1,324,436	11.4	
第二区分	茶 (平成28年産)	高 松	1	356	51,190	34.8	
		仲多度	3	2,534	514,969	16.8	
		三 豊	0	0	0	0.0	
		計	4 4	2,890	566,159	16.3	

大豆の被害は、白大豆では播種期及び移植期の6月中旬から下旬まで降水量が多かったこともあり、練り播きとなった圃場では土壌湿潤害により初期生育が阻害された。また、7月下旬から8月中旬まで寡雨が続いたため、播種が遅くなった圃場では干害による生育不良、また開花期であった圃場では落花、落莢が発生した。

黒大豆では、干ばつ対策として畦間灌水を行った圃場のうち、過繁茂となった所では、多湿のため落花、落莢及び結実不良が発生したほか、停滞水によって根に大きなダメージを受けた圃場もあった。また、花芽分化期から幼莢形成期にあたる8月29日の台風10号や、9月18～20日の台風16号、9月の長雨により落花、落莢、結実不良が発生したことにより高被害となった。

また、一部地域においてカメムシの発生がみられ、耕地によっては吸引による不稔粒や奇形粒の被害がみられたほか、一部山間地域において、イノシシ、サルによる食害及び踏み倒しの被害を受けている。

以上の被害状況から28年産大豆は異常災害となり、国から保険金が支払われた。

茶の被害は、3月25日から27日にかけての低温により、萌芽期の頂芽が枯死したほか、4月12日の低温においても晩霜の影響で新芽の枯死が発生し、それに伴い生育が不揃いとなった。

以上の被害状況から28年産茶は異常災害となり、国から保険金が支払われた。

(支払)

畑作物区分		項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共済金
					保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	
第一区分	大豆		平成29年3月6日	円	円	円	円	円	円	%
				1,324,436	276,821	854,451	193,164	0	0	100
第二区分	茶		平成28年10月5日	566,159	282,378	201,914	0	0	81,867	100
	計			1,890,595	559,199	1,056,365	193,164	0	81,867	100

(5) 園芸施設共済関係

(引受)

施設区分	項目	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
		人	棟	m <sup>2</sup>	円	円	円	円	円
ガラス室	I 類								
	II 類	33	96	51,599	543,406,000	434,655,000			
プラスチックハウス	I 類								
	II 類	887	2,197	678,490	1,452,886,000	1,160,910,000			
	III 類	404	556	426,141	1,624,763,000	1,299,458,000			
	IV類甲	136	185	186,356	856,475,000	685,047,000			
	IV類乙	40	54	44,492	259,167,000	207,292,000			
	V 類	26	35	28,062	202,413,000	161,904,000			
	VI 類	40	310	55,204	113,941,000	90,808,000			
VII 類	2	2	730	829,000	662,000				
計		延 1,568 実 1,338	3,435	1,471,074	5,053,880,000	4,040,736,000	22,817,648	15,585,721	38,403,369

支 所	項目	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
		人	棟	m <sup>2</sup>	円	円	円	円	円
東 部		280	637	262,218	970,371,000	775,960,000			
高 松		175	376	179,248	523,605,000	418,663,000			
小 豆		78	138	81,147	311,475,000	249,093,000			
中 讃		261	518	251,942	799,866,000	639,490,000			
仲 多 度		253	752	209,645	648,628,000	518,261,000			
三 豊		521	1,014	486,874	1,799,935,000	1,439,269,000			
計		1,568	3,435	1,471,074	5,053,880,000	4,040,736,000	22,817,648	15,585,721	38,403,369

(参考)

施設区分	項目	1 棟当たり平均		
		共済価額	共済金額	付保割合
ガラス室	I 類	円	円	%
	II 類	5,660,479	4,527,656	80.0
プラスチックハウス	I 類			
	II 類	661,305	528,407	79.9
	III 類	2,922,236	2,337,155	80.0
	IV類甲	4,629,595	3,702,957	80.0
	IV類乙	4,799,389	3,838,741	80.0
	V 類	5,783,229	4,625,829	80.0
	VI 類	367,552	292,929	79.7
VII 類	414,500	331,000	79.9	
計 (平均)		1,471,290	1,176,342	80.0

(参考)

項 目	組合員数	引受棟数	設置面積
前 年 度 対 比	% 98.7	% 97.8	% 97.3
事 業 計 画 対 比		102.6	

地域を設け集中的な引受推進を行った。実施内容としては、プラスチックハウスII類（パイプハウス）、VI類（雨よけ施設）は、「撤去費用」を合わせたセット推進を必須とし、新設ハウスの新規引受については「復旧費用」及び「撤去費用」を合わせたセット推進を行った。

平成28年度の引受実績については、戸数 1,568戸（△20戸、前年対比 98.7%）、棟数3,435棟（△77棟、同97.8%）、面積 1,471,074m<sup>2</sup>（△40,794m<sup>2</sup>、同97.3%）、共済金額 40億4,073万円（△3,977万円、同99.0%）となり、全項目が前年度実績を下回る結果となった。

施設区分ごとの引受実績では、プラスチックハウスIII類（軽量鉄骨ハウス）で、共済金額が前年対比101.6%、プラスチックハウスV類（鉄骨上）で111.9%と前年度を上回る実績となった。

支所別の引受実績においては、東部支所が引受戸数、引受面積、共済金額など全項目で前年度対比100%を上回る実績となった。

引受の概況

施設園芸農家を巻き取る環境は、農産物価格の低迷や農業生産資材の高騰により、共済資源が年々減少傾向にある。平成28年度の園芸施設共済推進方策において、特別一斉推進期間及び推進

(被害)

施設区分	項目	被害			損害の額	共 済 金						共済金	
		組合員数	棟 数	附帯施設数		特定園芸施設	特定園芸施設 復旧費用	撤去費用	附帯施設	附帯施設 復旧費用	施設内農作物	合 計	共済金額
		人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	%
ガ ラ ス 室	I 類												
	II 類				0							0	0.00
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	I 類												
	II 類	89	108		9,699,330	7,664,873				83,786	7,748,659	0.67	
	III 類	45	47		5,370,840	2,899,647				1,396,845	4,296,492	0.33	
	IV類甲	14	14		1,233,717	986,970					986,970	0.14	
	IV類乙	1	1		101,089					80,871	80,871	0.04	
	V 類				0						0	0.00	
	VI 類	4	4		264,040	210,877					210,877	0.23	
VII 類				0						0	0.00		
計		153	174	0	16,669,016	11,762,367	0	0	0	0	1,561,502	13,323,869	0.33

支 所	項目	被害			損害の額	共 済 金						共済金	
		組合員数	棟 数	附帯施設数		特定園芸施設	特定園芸施設 復旧費用	撤去費用	附帯施設	附帯施設 復旧費用	施設内農作物	合 計	共済金額
		人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	%
東 部		40	41		2,816,988	2,252,423						2,252,423	0.29
高 松		7	8		697,954	266,721				291,539	558,260	0.13	
小 豆		4	4		171,167	136,854					136,854	0.05	
中 讃		23	26		1,933,525	1,545,710					1,545,710	0.24	
仲 多 度		29	40		4,220,564	2,865,508				505,028	3,370,536	0.65	
三 豊		50	55		6,828,818	4,695,151				764,935	5,460,086	0.38	
計		153	174	0	16,669,016	11,762,367	0	0	0	0	1,561,502	13,323,869	0.33

被害の概況

平成28年度は、被害棟数が174棟と過去最も被害の少ない年となった。また、支払共済金は1,332万円となり、平成25年度（支払共済金995万円）、平成21年度（同 1,286万円）に次ぐ過去3番目に少ない年となった。

平成28年度において、被害が一番集中した事故は、平成28年4月17日に中讃地域から西讃地域を中心に発生した突風災害で、パイプハウスを中心に42棟に損害が発生し、367万円の共済金を支払っている。

共済事故別支払状況は、風害が167棟（支払共済金 1,173万円）、単独病虫害による施設内農作物の被害が6棟（同156万円）であった。施設内農作物被害の内訳は、ミニトマト3棟（同 79.6万円）、菊1棟（同 60万円）、ハウスメロン1棟（同8.3万円）、トマト1棟（同8万円）となっている。

(支払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金
	保 険 金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	そ の 他	共 済 金
円	円	円	円	円	円	%
13,323,869	915,110	12,408,759	0	0	0	100



(6) 任意共済関係

1 建物共済

(引受関係)

支 所	項 目	引受棟数	共済金額	共 済 掛 金			1棟当たり 平均共済金額	再共済掛金	再共済手数料
				純共済掛金	賦課金	合計			
		棟	千円	円	円	円	円	円	円
東	部	14,023	169,737,930	96,824,493	66,159,545	162,984,038			
高	松	22,273	302,283,060	145,394,343	111,916,369	257,310,712			
小	豆	1,708	19,303,190	10,775,321	6,926,674	17,701,995			
中	讚	19,424	241,061,970	120,928,150	91,112,266	212,040,416			
仲	多	17,272	203,703,060	98,536,759	74,587,330	173,124,089			
三	豊	29,842	384,974,250	184,557,561	140,644,788	325,202,349			
	計	104,542	1,321,063,460	657,016,627	491,346,972	1,148,363,599	12,636,676	344,490,699	131,872,511

(注) 再共済割合30%、再共済手数料割合：総合共済15.50% 火災共済40.50%

引受の概況

火災共済では、引受棟数が 100,456棟（前年度比 △3,757棟、96.4%）で、共済金額は 1兆 2,846億円（同 △505億円、96.2%）となった。

総合共済では、引受棟数が 4,086棟（同 93棟増加、102.3%）で、共済金額は 363億円（同 18億円増加、105.5%）となった。

建物共済全体では、引受棟数が 104,542棟（同 △3,664棟、96.6%）で、共済金額は 1兆3,210億円（同 △486億円、96.4%）、共済掛金等が11億4,836万円（同 △3,526万円、97.0%）、うち、賦課金は、4億9,134万円（同 △1,724万円、96.6%）となった。

(参考)

項 目	共済金額 (千円)	前年度対比 (%)	事業計画対比 (%)	1 組合員当たり 共済金額 (円)
総 合	36,365,300	105.5	115.9	
火 災	1,284,698,160	96.2	105.7	
計	1,321,063,460	96.4	106.0	28,404,469

(事故関係)

支 所	項 目	事故棟数	加入総共済 金額 (イ)	支 払 共 済 金 (ロ)				再共済金	被 害 率 (ロ) / (イ)
				火災	拡張担保	自然災害	合計		
		棟	千円	円	円	円	円	円	%
東	部	24	264,100	86,786,621	964,763	93,133	87,844,517		33.3
高	松	40	477,060	26,686,465	8,910,611	369,987	35,967,063		7.5
小	豆	2	26,000	0	190,175	0	190,175		0.7
中	讚	21	241,330	8,788,878	3,484,174	253,735	12,526,787		5.2
仲	多	27	351,210	112,154,956	2,943,780	504,327	115,603,063		32.9
三	豊	36	413,290	57,937,069	1,279,816	771,161	59,988,046		14.5
	計	150	1,772,990	292,353,989	17,773,319	1,992,343	312,119,651	93,635,823	17.6

事故の概況

平成28年度の支払件数は、132件で、150棟（前年度 182件、203棟）が罹災し、支払共済金は 3億1,211万円（前年度対比 105.4%）となった。

共済種類別では、火災共済で110件、122棟、支払共済金は 3億820万円（前年度 84件、89棟、2億6,491万円）、総合共済で22件、28棟、391万円（同 98件、114棟、3,114万円）となった。

原因別では、火災事故で 28件、37棟、支払共済金は 2億 9,235万円（同 31件、33棟、2億 7,327万円）となっている。火災の原因は、ストーブ 9棟、漏電 5棟、風呂かまど 4棟、灯火

4棟、類焼 4棟などであった。そのうち、全損事故に係る支払いは、10件、11棟、支払共済金は 2億1,445万円（同 10件、13棟、2億2,020万円）となっている。

車両等の衝突や落雷等の拡張担保では、92件、96棟、支払共済金は 1,777万円（同 62件、65棟、672万円）となった。

自然災害では、12件、17棟、支払共済金は 199万円（同 89件、105棟、1,605万円）となった。

建物共済原因別事故発生状況

事故の原因	項 目	事故棟数	加入総共済 金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	再共済金	被 害 率 (ロ) / (イ)	備 考
		棟	千円	円	円	%	
失	火	33	462,020	283,749,997		61.4	
類	焼	4	53,120	8,603,992		16.2	
火	災	計	37	515,140	292,353,989	56.8	
拡	張	担	96	1,104,190	17,773,319	1.6	
風	水	害	17	153,660	1,992,343	1.3	
	計	150	1,772,990	312,119,651	93,635,823	17.6	

## 2 農機具損害共済

(引受関係)

支所	項目	加入台数	共済掛金		1台当たり 平均共済金額	
			共済金額	純共済掛金		賦課金
		台	千円	円	円	
東部		3,927	8,793,090	27,014,357	8,293,678	2,239,137
高松		4,769	11,014,370	32,481,863	10,090,224	2,309,576
小豆		208	265,330	836,806	243,431	1,275,625
中讃		3,564	8,826,850	26,125,265	8,182,593	2,476,669
仲多度		2,717	6,748,420	20,254,053	6,229,524	2,483,776
三豊		6,936	15,643,670	46,021,813	14,408,091	2,255,431
計		22,121	51,291,730	152,734,157	47,447,541	2,318,689

(注) 総共済掛金 200,181,698 円

### 引受の概況

損害共済の引受台数は、22,121台で(前年度比 273台増、101.2%)で、共済金額は 512億9,173万円(同 13億1,972万円増、102.6%)となった。

機種別加入状況は、乗用トラクター 9,971台(同 86台増、100.8%)、自脱型コンバイン 5,965台(同 △62台、99.0%)、田植機 2,787台(同 16台増、100.6%)で、この主要3機種合計で18,723台となっており、引受全体の84.6%を占めている。

(事故関係)

支所	項目	事故台数	加入総共済 金額(イ)	支払共済金(ロ)	被害率 (ロ)/(イ)	備考
東部		286	1,067,060	24,775,388	2.3	
高松		244	913,190	25,959,758	2.8	
小豆		6	11,070	437,203	3.9	
中讃		189	685,010	19,821,520	2.9	
仲多度		194	685,030	18,844,025	2.8	
三豊		482	1,704,810	44,897,072	2.6	
計		1,401	5,066,170	134,734,966	2.7	

### 事故の概況

平成28年度の事故台数は、1,401台(前年度 1,424台)で、支払共済金は、1億3,473万円(前年度 1億4,909万円)となった。

機種別では、自脱型コンバイン 644台、6,203万円(前年度 648台、6,314万円)、乗用トラクター 573台、5,499万円(同 589台、6,116万円)、田植機 93台、715万円(同 85台、690万円)で、3機種合計 1,310台となっており、事故全体の93.5%を占めた。

原因別では、稼働中の事故 1,385台、1億3,253万円(同 1,400台、1億2,863万円)、火災等の事故12台、200万円(同 22台、1,837万円)、自然災害の事故4台、19万円(同 2台、208万円)となった。

(参考)

項目	加入台数	共済金額	手持共済掛金
	%	%	%
前年度対比	101.2	102.6	102.1
事業計画対比	102.7	104.6	104.5

### 農機具損害共済原因別事故発生状況

事故の原因	項目	事故台数	加入総共済 金額(イ)	支払共済金(ロ)	被害率 (ロ)/(イ)
衝突・接触		1,328	4,836,630	116,001,199	2.4
墜落・転覆		30	62,250	13,518,459	21.7
異物の巻込		24	100,660	2,842,703	2.8
火災等の事故		12	41,730	2,004,941	4.8
その他稼働中		3	6,050	176,288	2.9
自然災害		4	18,850	191,376	1.0
計		1,401	5,066,170	134,734,966	2.7

稼働中の事故の内訳として、衝突・接触1,328台、1億1,600万円(同1,282台、1億281万円)、墜落・転覆30台、1,351万円(同44台、1,505万円)、異物の巻込24台、284万円(同38台、621万円)などとなった。

全損事故は3台、248万円(同11台、2,577万円)となり、乗用トラクターの転覆事故で102万円、田植機の火災事故で96万円、施肥播種機の衝突事故で50万円となっている。

損害率(支払共済金/純掛金)は 88.2%(前年度 99.6%)となった。

## (7) 農機具更新共済関係

(引受関係)

支所	項目	加入台数	共済金額	減価共済金額	共済掛金		
					純共済掛金		賦課金
					損害部分	減価部分	
		台	千円	千円	円	円	円
東部		5	17,850	17,850	53,014	2,269,166	71,400
高松		25	47,300	47,300	140,647	6,457,563	189,200
小豆							
中讃		11	24,530	24,530	72,870	3,718,736	98,120
仲多度		14	43,480	40,320	129,192	4,625,722	173,920
三豊		9	23,850	23,850	70,853	2,915,932	95,400
計		64	157,010	153,850	466,576	19,987,119	628,040

(注) 総共済掛金 21,081,735 円

引受の概況

更新共済の引受台数は、64台で（前年度比 △30台、68.1%）で、共済金額は1億5,701万円（同 △5,338万円、74.6%）、減価共済金額は、1億 5,385万円（同 △5,178万円、74.8%）となった。

更新共済における上位3機種種の引受は、乗用トラクター 31台（同 △9台、77.5%）、田植機 7台（同 △6台、53.8%）、乾燥機 6台（同 △4台、60.0%）となっている。

(事故関係)

支所	項目	事故台数	期間満了台数	加入総共済金額(イ)	支払共済金		被害率(ロ)/(イ)
					災害共済金(ロ)	減価共済金	
		台	台	千円	円	円	%
東部		1	2	5,650	10,962	2,950,000	0.2
高松		1	16	18,770	25,812	17,100,000	0.1
小豆							
中讃			5	9,030		9,030,000	
仲多度		1	4	11,200	34,078	6,400,000	0.3
三豊			3	12,700		12,200,000	
計		3	30	57,350	70,852	47,680,000	0.1

事故の概況

平成28年度の事故による支払台数は、3台（前年度 7台）で、災害共済金は、70,852円（同 37万円）となった。

共済責任満了による支払いは、30台（同 27台）、減価共済金は、4,768万円（同 5,097万円）となった。

事故と期間満了による支払台数は 33台（同 34台）、災害共済金と減価共済金を合わせた支払共済金は 4,775万円（同 5,134万円）となった。

(参考)

項目	加入台数	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	% 68.1	% 74.6	% 74.3
事業計画対比	100.0	97.5	97.8